

共同礼拝

2023年9月24日(日) 午前10時30分

午後4時

司式 牧師 高橋和人

奏楽 大澤葉子

前 奏

招 詞 ヨハネによる福音書 4章23節

讃 詠 546

主の祈り

聖 書

創世記 26章4節 (旧40)

使徒言行録 3章11～26節(新218)

祈 禱

使徒信条

讃 美 歌 8

説 教 「神の祝福を受ける」牧師 姜 涇米

祈 禱

讃 美 歌 280

献 金

頌 栄 540

祝 禱

後 奏

起立が困難な時は着席のまま礼拝します。

9月の祈り

天に国籍を持つものとして、歩むことができるよう信仰生活が導かれ、祈りの日々が力づけられるように。

主にあって召された信仰の先達たちを偲び、主の十字架と復活による救いと恵みの信仰を受け継ぎ、教会に連なる歩みを重ねることができるように。

災害の痛手を負い、痛みが残る人々に主の慰めと癒しが与えられるように。

平和を求める祈りが力づけられるように。

今日の祈り

主イエス・キリストを信じ、主に結ばれ、主と共に信仰と希望と愛とに生きる道に歩んだ兄弟姉妹を覚え、祈ることができるように。

田園調布幼稚園の歩みを主が導き、力づけてくださるように。

弱っている兄弟姉妹にみ手が与えられ支えられるように。

「神の祝福を受ける」 姜 涇米

使徒言行録3章11～26節

本日の箇所は、2章のペンテコステの出来事と、いろいろな点で共通しています。2章でも、弟子たちに聖霊が降り、彼らがいろいろな国の言葉で、神の偉大な業、主イエスによる救いの出来事を語り始めたという奇跡的な出来事が起っています。そしてそれに驚いた多くの人々が彼らの周りに集まって来ました。その人々にペトロが語った説教が後半に記されています。

2章と3章は、話の構造が同じです。まず、聖霊の働きによって驚くべき奇跡が行われます。ペトロは12節で、この癒しは私たちが自分の力や信心に

よってなしたことではないと言っています。彼らは、ペンテコステの出来事において、聖霊を受け、聖霊の力に導かれて主イエスを宣べ伝えているのです。その歩みの中でこの癒しも行われたのですから、この癒しの業も聖霊のお働きによることです。

聖霊は、ペンテコステの日だけ働いたのではありません。その後も常に働き続けて下さっているのです。その聖霊の働きによって、この癒しの奇跡が行われました。そして、それに驚いた多くの人々が、弟子たちのところに集まって来ます。その人々に、ペトロが教えを、説教を語っていく、そういうことが2章と3章にあるのです。そういう意味では、本日の箇所はペンテコステの出来事の繰り返しであると言うことができます。

神様の祝福は、主イエス・キリストによる祝福です。神様の民は、主イエス・キリストによる救いの恵みにあずかる者の群れです。私たちは悔い改めて神様のもとに立ち帰ることによって、主イエス・キリストの十字架と復活の恵みにあずかるのです。

あの足の不自由だった人に起ったこともそれでした。イエスの名が彼を強くした、その名を信じる信仰が彼を癒したというのは、主イエスの十字架と復活の恵みが彼に与えられたということです。彼も、悔い改めて神様のもとに立ち帰ったのです。

癒された彼が神様を賛美しながら、ペトロとヨハネと共に神殿に入り、彼らに付きまわっていたことがそれを現わしています。主イエスによる救いは、自分の思いや願いを見つめていた私たちが、その心の向きを変えられて、悔い改めて、主イエスの方を向き、神様を礼拝しながら生きる者となる。

神様に立ち帰り、教会の一員として歩む、そこに、神様の祝福を受ける者の人生があるのです。